

1996年(平成8年)11月

第 5 号

この子等の幸せを考える親の会

きぼう

事務局

〒494 尾西市富田字漆畑16番地

TEL/FAX: 0586-61-6055

編集責任者: 広報・研修事業部

人にやさしい街づくり 聖火ウォーキング

さる10月26日のびさいまつりの初日の聖火ウォーキングに私達親の会からも家族そろって多数参加いただきましてありがとうございました。

このイベントは、尾西市の「人にやさしい街づくり計画」の一環としてとりくまれ、お年寄りや障害者とのふれあいと共に歩むことから、人にやさしい街、福祉の尾西市を創造してゆくというものでした。

各福祉団体の気持ちを込めた旗と共に大勢のウォーキングに沿道の市民からは、「さすが尾西市、ただの祭りに終わらせないね!」という声が聞こえて来ました。市長さんは、「誰もが利用しやすい都市環境の整備と共に、心のやさしさが人にやさしい街づくりの基本です。」と挨拶のなかで述べ、アトランタパラリンピックの金メダリスト田中照代さんは、「尾西市も福祉の街づくりで金メダルをとって下さい!」と励ましの言葉を下さいました。



尾西まつり 聖火ウォーキングの光景(10月26日)

学習会開かれる

— 地域の中で、豊かな暮らしをめざして —

親の会の学習会が9月にもたれました。

この学習会では、参加しやすいようにという要望から、日曜日を含め3日間のうち都合の良い日に参加する方法をとり、3グループに分かれ、合計51名の参加者がありました。テーマは事前のアンケートから関連付けて話されましたが、グループによって様々で幅広いものになりました。

会員同士が机を囲って、互いに見合いながら胸の内を一つ二つと話し合えたことに意義があったと思います。引き続き学習し合って、実りあるものへまとめていけるように、ここにその一部を紹介致します。

①この子とのあゆみの中で、共に歩いて来た道のりのことから話して下さった人は、多くありました。親としての子供へのかかわりやしつけのこと、今の心配事の発言から。

「本人が一人前な暮らしが出来るように、一日の日課をたて、やるべきことを繰り返し、失敗しても継続してやってきました。一年に1ページの本をめくる思いで気長にやっています。

洗濯ものをたたむ、風呂の掃除は二年位かかりました。包丁ももたせてきました。通学で電車やバスの経験も積んで来ました。生活施設ができて、何でもしてもらえる、やってもらえるではいけません。

我々が死んだ時、動けなくなった時に、自分の身の回りのことはできるようにというとりくみにはきびしさがいます。小さい時はかわいさがありますが、この時のしつけが大事と言えます。」

「難産。お母さん方と一緒に頑張ってなんとかやってこれました。ここに来て、更年期障害。やれるうちは家族でやって行こうと思っていますが、私が体が弱いので、病気になったりすると心配。まだおぼあちゃんもいますし。将来を思うと頭が一杯で毎日が不安。」



②休日の過ごし方の話し合いから。

休日の過ごし方について出席者より意見を出して頂いたところ、目が離せなかったり、介護が必要だったりひとりにはしておけない方とひとりでも過ごせる方の二通りあることが分かりました。



その中で、家庭の中だけでなく、地域の中で、家族以外の方々と気軽にふれあう機会がもてたらという願いがあつく伝わってきました。会員の親子で喫茶店に行ったり、旅行に行ったりという話しも聞かれますが、互いに工夫しあえたらいいと思います。

この取り組みは障害者本人の積極的な生き方につながっていきますし、地域の福祉の課題でもあることから、引き続き話し合い、関係者の助言を得て行こうというまとめになりました。

③ショートステイの取り組みについての話し合いから。

檜の木に生活（入所）施設ができれば、一定の人数の利用が確保出来ますが、それまでの間、当面の課題としてどのような形が可能か学習しました。

まず、ショートステイを利用する理由として保護者や介護者の病氣・怪我等マイナス要素だけでなく、レスパイト（休息）・リフレッシュ（旅行）等のプラス要素で積極的に利用していったらという意見が出されたのが印象的でした。

つぎにショートステイの場所として、他の法人の経営する入所施設の利用制度を確認しました。また合宿所（檜の木の）の利用が可能であることと、種別は異なるが老人施設はどうか調査してみること。

ショートステイを合宿所で実施する場合、援助者は誰（親の会会員、施設職員等）、運営主体（親の会、檜の木等）はどこか、いくつか解

決していかなければなりません。そしてこのショートステイは親側の利用と同時に本人の状況や目的もあります。

ショートステイは、親の会の中でも切実で早急な課題となっているので、会員が利用可能な自前のものが実現できたらと願わずにはいられません。

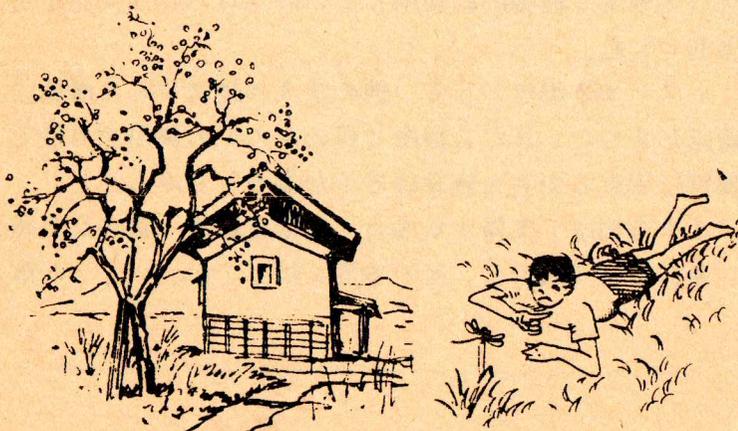
制度の活用を

— 学習会に参加して

世の中はどんどん変わっていきます。

ねたきり老人介護問題でも、家族の負担を少しでも軽減するために介護者が休息を取れるよう老人一時預かりのショートステイ制度がありますが、障害者でも緊急一時保護措置という制度があり、登録すれば冠婚葬祭・親の病気等々の理由で預かってもらえます。市役所とか、市町村役場を通じて手続きが必要です。これは大分以前から出来ている制度で皆さんご存知かと思っていました。コロニーで登録されている方は、子供が満18才になると登録を変更しなくてはなりません。重度で歩行のできないお子さんをお持ちの方はどんなにかご苦労なこととお察し致します。

親が倒れない前に、出来ている制度は活用して仲間の助け合い励まし合いで、可愛い子供達の為にこの人生を乗り切りましょう。



楽しかった親子遠足



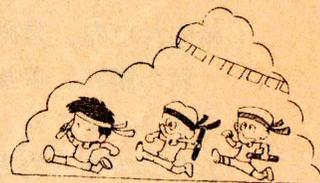
梅雨の中休みの天候ではありましたが、養老公園の親子遠足に参加しました。バス、乗用車に分乗して目的地に向かって出発致しました。

静かな山道を抜け、新緑の山々を前方に見つめながら、バスの中は賑やかでした。目的地に予定通り到着しました。

美しい芝生の上でお弁当を戴いたり、お母さん方の話も弾んでいました。体力のある方は、瀧まで見学に行かれました。少し不安な方々は、美しい景色を見ながら散歩したり、ゲームセンターで楽しんでおられました。この日、傘を持参しての参加でしたが、空も私達を応援してくれたようで不用でした。何事もなく無事帰宅出来たことをうれしく思っています。

先生方、役員の方々お世話になりました。来年度も楽しみに待ちつつ、ありがとうございました。

運動会の感想



「あれ?」「まさか?」「やっぱり!」前日の雨からは想像もできない青空。「早く起きて!」「ウルサイ!オキタラン」、相も変わらずのやりとり。「早く!遅れるよ!」との私の怒声にさして反発もせず、「さすが運動会」の“いい子”で出掛けて行きました。

昌代にとって5回目の櫛の木の運動会、櫛の木と言えば全種目全員参加なのに我が子と言えどそれを果たしたことは皆無。小学校以来、“自信がない”“はずかしい”はエスカレートしっぱなし。“本当はやりたい”との気持ちも持ち前の“意地”に影を潜めてきていましたが、そんな我が子が今年はおトットット…やった!、全種目参加。トイレや控え席まで昌代を引っ張り出しに来て下さった先生、ありがとう、ごくろうさまでした。

時間がゆっくり過ぎていく。それでいてあっという間の一日。不安げな様子の子、又一日疲れもみせずいきいきのびのび参加している子。そんな一人一人がまた、我が子と同じように、気持ちや心を揺らせているんだろうなという思いが胸に押し寄せて来ました。

子供達に楽しい一日をありがとうございました。そして皆様方本当にお疲れ様でした。

娘の運動会

すがすがしい秋空の下、櫛の木園でお世話になって、初めての運動会。

こだわりの強い娘が、皆さんと一緒に競技に参加できるだろうか、不安で一杯でした。案の定、私が駐車場へ着くと、カバンかけたまま、先生とお店の方へ歩いているのです。控え席では、紙を丸めて遊び、競技には、全然目もくれようとしません。でもグラウンドへは、すぐ引き返し、表情も穏やかで安心しました。

パン食い競争のパン、おいしかったね。立ったまま引っ張らなかった綱引き。手で押さずに足で蹴っていた大玉転がし。ひとつ入れた玉入れ。学校の徒競走では、最初から最後まで歩いていた娘が、ゴール近くまで走ったりレー。先生方の声掛けで、嫌がらずに最後までよく頑張れたね。誉めてあげたいと思います。

秋の陽に、参加された皆さんの顔も輝き、その中で楽しい一日を過ごすことができ、幸せな気持ちになりました。
お世話下さった先生方に感謝致します。



フレー、フレー！ 力いっぱい！ 綱引き

10月13日、祐久グラウンドで

尾西まつり

前日は風が強く寒い日だったので心配していましたが、二日目の日は良い天気になり、暖かい日でバザー当番も楽でした。

「靴下いかがですかー！」と声を出して売りました。お年寄りの人達は寄って来ては買って頂けましたが、若い人達向きの靴下があったらいいと思いました。そうすればもっと手芸品の方も見てもらえるなと思いました。それから座布団ももっと明るい色なら売れる気がしました。

私は、知ってる人が何人かいて、久しぶりに会い、お話しもでき、思いがけない楽しい一時を過ごさせて頂きました。お祭りの方も前に比べ両方の道にお店の数も多く、又パレードの時は笛や太鼓の音が聞こえ、賑やかでした。

気になっていることは、最後に売上金計算をする時に電卓をもっていなくて、計算ができなかったことです。これからはもっと気を付けてやりたいと思います。



バザー用品製作に大忙し！



願いのこもった手芸品、いかがですかー！

尾西まつり。10月27日、文化会館にて

尾西まつり販売に参加して

日曜日の午後の部のお手伝いをさせて頂いた。くじ引き景品交換所の隣りに店を出していて、人通りもよし、天気もよし、販売には良いところだと思った。

通るお客さんに声掛けをしてみると、そのうちに一人、二人と買って下さるのでうれしくなり、「ありがとうございますー！」と大きな声で言いました。

ある方は、何足もの靴下を買って下さいました。お友達、知り合いの方に、差し上げようと言って追加してまで買って下さったのでした。以前に買って、商品のよし悪しは分かっているのであろう、あのお客様のように一人でも多くのお客様に試してもらおうと一生懸命売り込んでみました。私のような口べたな者は商売向きでないからなあと思いつつ…。

とやかくしている内に終了時間が来てしまい、短く感じた午後でした。このバザーを通じて、市民の方、一人でも、二人でも、私達親の会の活動を知って頂けたのではないかと願っております。



尾西まつり、わたがしに長蛇の列

編集後記

ここに、会報誌第5号の発行に至りました。——地域の中で、豊かな暮らしをめざして——、会の活動も活発になってきました。「'96福祉フェスティバル・びさい」にも是非ご参加下さい。引き続き、会員・関係者皆様の投稿を期待しております。

《編集部》